

サッカーの試合におけるセットプレーに関する研究 ～リスタートに着目して～

神明拓司（競技スポーツ学科 コーチングコース）

指導教員 松田保

キーワード リスタートの時間 セットプレー 効果的な攻撃

1. 緒言

アフリカ大陸で初めて行われた2010南アフリカW杯では145個のゴールが生まれ、セットプレーからの得点率は24%であった。直接FKからのゴール数は減っているが、今回の公式球であったジャブラニや、高い標高でボールが落ちなかったことなどが原因とされている。それでも日本代表は、全4得点のうち2点がFKから入るなど、セットプレーによってグループリーグ突破できたといっても過言ではない。それほど現在のサッカーにおいては重要視されている部分である。

そこで私は、本研究でセットプレーについて、そのなかでもボールをセットしてから何秒でプレーを再開すれば得点・効果的な攻撃につながるかを研究する。私自身、本大学のサッカー部でコーチとしてやらせてもらったなかで、選手に対して「相手の守備が整う前に早くリスタートをしよう。」と伝えてきたが本当にそれが効果的なかどうかを明らかにすることを本研究では目的とする。

2. 研究方法

2010南アフリカW杯の決勝トーナメントを分析対象とし、VTR分析を行う。

グラウンドを守備ゾーン、中盤ゾーン、攻撃ゾーン、さらにそれを右、中、左と九分割する。セットプレーになるたびに何秒でリスタートされ、結果的にどのような攻撃になったかを、ゾーン、セットプレーの種類ごとにまとめる。

3. 結果

・FK

自陣のゾーンは早ければ早いほど効果的な

攻撃につながっている。中盤ゾーンでは時間からのデータの差はあまりみられなかった。攻撃ゾーンにおいては、リスタートを早めるよりも、ボールをセットして中をしっかりと整えてからのプレーが、ゴールにもつながっていた。

・スローイン

どのエリア、ゾーンにおいてもリスタートが早ければ早いほど効果的な攻撃につながっている。

・CK

リスタートの時間を早めることも大事であるが、相手の裏をかくようなプレーも必要不可欠となる。

・ゴールキック

確率は低いものの前線にターゲットをつくって長いボールを蹴ったほうが、ゴールへとつながる。

4. 結論

セットプレー、エリアごとによって有効となるリスタートの時間や攻撃の仕方が異なる。

5. 引用、参考文献

・2010 FIFA ワールドカップ-Wikipedia-
http://ja.wikipedia.org/wiki/2010_FIFA%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%89%E3%82%AB%E3%83%83%E3%83%97

